



歩いてみました「〇〇駅～〇〇駅」シリーズ② 歩いてみました堺「うなぎあなご旅」& 伝統産業 綾ノ町～浅香山 御陵前～東湊

堺といえば穴子。だけど大和川には伝説の青うなぎが生息？うなぎミュージアムもあるらしい。
綾ノ町から横歩きしてみた、出会ったものすごい人たち！！

⑩ うなぎミュージアム & cafe 雑魚寝館



館長の亀井哲夫さん。うなぎに注ぐ情熱に全国の研究者も集う

「堺にうなぎのミュージアムがある！」と Eric さんに教えられ、綾ノ町から横歩き。「淡水魚ミュージアム 雑魚寝館」は金曜日だけの究極のうなぎワンダーランドだった。館内右手が小さなカフェスペース。ひつまぶし、茶漬、ちまき、うなぎパン…と、うなぎづくし。一方はうなぎをモチーフにしたアート作品の展示。自然と集まったものも多いという。館長の亀井さんに屋外の水槽のうなぎ達を案内いただいた。世界中の様々な種類のうなぎが、現在 11 種類も飼育され、全国からうなぎの研究者が訪れるそう。水槽の中のうなぎ達は、大小さまざま。元気に泳いでいるものもいれば、うなぎの寝床という長い筒の中にすっぽり入って眠っているものも。どれも愛らしい。お茶の研究を独自に続け、メダカを飼いはじめたのがきっかけで、淡水魚の世界に。うなぎと出会い、どんどん魅了されていったのだという。(記者:坂本)

雑魚寝館 堺区香ヶ丘町 1-10-8 TEL072-233-8831 金 15:00～22:00(不定休)
<http://zacconekan.net/>
「大和川の青うなぎ」は本当にいるのかを取材してほしかったな～おいしい!(笑) ぜひ!! 読者の方からの情報をお待ちします。(編集部より)

⑪ 佐助 SASUKE

浅香山駅の住宅街の中にひとときわ趣のある町屋を発見。あ、斬新なデザインのロゴと歴史ある看板で堺市の景観賞を受賞された「佐助」の工房ではないでしょうか！パリの展示会を開催される時に、日仏の通訳を探しておられて Eric さん※1 と出会い、彼が日本へ来るきっかけとなったところですよ！



SASUKE 伝統の切れ味!

歴史をさかのぼるとものすごいものが見えてくる
先祖は江戸時代「住吉屋」という商人で、代々酒造業を営み、分家の一つが元禄の頃桜之町に住み、一族で廻船問屋、物産卸、両替商を営んだ。その後鉄砲製作工房を営む分家も現れ、この家筋が紀州徳川家と土佐藩山内家の御用商人となった。幕末に世情を鋭く読んだ当主(初代佐助)が鍛造りを始めた。現当主平川康弘氏は五代目で、伝統工芸士にも選ばれた名工である。土佐との縁が深い。(高知県立歴史民俗資料館資料より)
妙国寺に伝わる「堺事件」の刀も保管されているのだそうです。
刃物づくりを見学!(要申込)
刃金付けの作業(地金の上に重ねて打ち合わせ、一体にしていく作業)を見学。数多い行程の一部で、緻密で繊細な作業の連続。見学の後、包丁や鋸の切れ味の体験もさせていただいた。ピーマンの千切りに挑戦してみた、その切れ味に驚きました。

⑫ あなご 深清鮎

「堺といえば、あなごですよー。」堺の人は口をそろえて言う。ほんまかな。思いきって電話してみた。「押しずしとにぎりがありますけど」「えっと押しずしで」「1個ですか」「は、はい。」「1個ってどんな量かな?」ドキドキしていったら、すてきな暖簾のお店の前には出来上がるのを待つお客さん達。お持ち帰り専門店なので、いつもの「ちん電に手を振る会」にお土産に持って帰ってみんなで食べたよ。箱鮎1つじゃ足りなかったな。いや、ほんまに美味しかった。とろけるようで。甘タレが効いてる! にぎりってどんなかな。絶対美味しいやろうなあ。
深清鮎 堺市堺区出島町 1-1-22 TEL072-241-4593 9:30～18:00 なくなり次第終了(休)火・不定休



絶品! あなごの押しずし

⑬ 「あなご尽くしの会」体験 松井泉



ウエルカムドリンクにはあなご出汁。まろやかな旨味が口中に広がる。前菜はあなご焼き、肝、幅巻きはブルーチーズ載せも。堺名物ゆずからりんや自家製あなご塩。薬味とタレで味付けの違いを楽しめる。目線で次々とあなごが調理されてゆく。白焼き、蒲焼の香ばしいこと。津久野の名店「山海料理仁志乃」による特製のあなご天ぷらも。あなご出汁にくぐらせたあなごしゃぶしゃぶ。あぶりあなご。目線で握られたあなごにぎりとおなご巻き寿司、定番の棒寿司。メのあなご出汁でのうまさしみ込んだあなごめしの美味しさは、それまでのあなご料理のうまさのしぐほどの味わい。あなごの美味しさのすべてを味わい尽くす、あなご尽くしの会は驚異の宴だった。(記者:坂本)

松井泉本社(工場) 堺区補町 3-1-26 TEL072-245-1779 5:00～16:00
(土曜日 14:00まで) (休)日・水・祝
販売予定や「あなご尽くしの会」はHPやFBで <http://matsuiizumi.co.jp/>

社長のあなご談義とあなご料理でお腹いっぱい2時間勝負!!

果たして、うなぎとあなごの対決の行方は・・・タレこみを待っているよ(うなぎだけに。あなごも!)

こちらのページ掲載の店舗の地図は、前ページ「ちん電遊びマップ(P5)」に!

※1 Ericさん…エリック・シュヴァリエさん。フランス人。堺市観光局勤務。SASUKEで刃物修行を経験。詳しくはちん電MAP4号掲載。
※2 ちん電に手を振る会…東粉浜のゲストハウス住吉前で、ちん電が通ったら手を振るといゆるゆるい会が毎月開催されています。

歩いてみました「〇〇駅～〇〇駅」シリーズ① 沿線のヒーロー イケメン北島頭家公を探せ! 松虫・東天下茶屋・北島～住吉～天神ノ森～聖天坂

北島頭家という沿線最大のヒーロー・イケメンの像があるらしい。どんな像なのか…探してみることにした!

START!

松虫

ちょっと寄り道して新しくできたサンドイッチ①BUNKAYAさんへ。たくさん種類がある中で1つだけしかないのがある。人気なのかと注文。「これ、チャレンジします?」という店主さんの謎の問いかけに「は、はい。」スラッピーたまごってどんなチャレンジなのだろう。なんでサンドイッチの写真がないんだー(#`D`)



東天下茶屋

王子神社を過ぎた辺りに②北島公園がある。頭家公の像ってここにののかな。阿倍王子神社を渡って、③Oojiさんのジェラートを食べながら行ってみる。緑豊かな公園!ここだ!でも立派なお墓や説明はあるけど頭家公の像はない。頭家会館の中なのかな。



北島

その名も「北島」何かあるかもしれない。④阿部野神社は頭家公を祀っていらっしゃるそう。阿部野神社とは探すと、停留所のすぐ近くに「阿部野神社」を見つけた。でも石碑の周りはマンション。ここ、どう見ても神社じゃないΣ(´д`lll)ガーン



天神ノ森

天神ノ森についたときは真昼。サンドイッチは持ったまま。暑い。お腹空いた。ええい、ここで食べちゃえ。線路を見つづ陰に身を寄せるも陰が小さくて靴も隠れない。スラッピーたまごを口に入れたとたん、衝撃の辛さ!背中からスーッと風が通るような感覚、うわ、これ、めっちゃうまい。元気が湧いてきた!



住吉

天神ノ森へは、ここで阪堺線に乗り換える。交差点を渡って待合所で時刻確かめ電停へ。



GOAL!!

ついに!最大のヒーロー
⑤北島頭家公の像を発見!



停留所から神社めざして突き当りを左に行くと何度か曲がっていくと阿部野神社の案内看板が!
⑥「さくら坂」ってなんか素敵。それに道沿いには大きな木が建物に溶け込んで。幼稚園のころを曲がると阿部野神社の入り口があった。



おまけにもうひとつあるき…



神社本殿にお参りする。
⑧旗上稲荷社・旗上芸能稲荷社にも行ける。

奥まで鳥居の中に吸い込まれていくみたい。世阿弥の「初心忘れるべからず」に心を打たれたつづ、有名人芸人名前の鳥居がある!と驚き。芸能の上達を願う人、劇団を旗上げされる時にはぜひお参りを。



阿部野神社正門の見つけ合うお馬さんたちに見送られて(ここが正面?)階段を降り、細い道を行き、電停へ。さらに⑨天神ノ森天満宮にお参り。御朱印

めぐり女子に人気のスポットらしい。堺の茶人で有名な武野紹鴎さんの別荘があったと伝わる碑や、淀君ゆかりの「子安石」もある。秀吉さんが紹鴎の別荘でお茶会開いたから「天下茶屋」っていうのかな。境内の大きな樟の木は歴史を知ってるだろうな。

今回歩いたスポットを、次ページの「ちん電遊びマップ(P4)」に掲載!ちんでんMAP片手にぜひ歩いてみてください!

町歩き①を終えて…
今回の町歩きでは、記事に収まりきれないほどの魅力的なお店やスポットがたくさん!紹介しきれない分は次号にて……♪

聖天坂

線路沿いに聖天坂へ。ここから松虫通りへ出て、横歩きして聖天さんや松虫電停に戻れるけど、今回はイケメンに会うミッションを達成したから、おとなしく阪堺線で恵美須町まで帰る。途中見つけた雑貨屋さん。お昼は閉まっていたのでまた今度♡